

# 音符と休符

# 音符とは？

音楽を楽譜に書き記すために使われる記号です。

五線譜上のどの位置に記譜されるかによって、

- 音の高さ
- 時間的位置(どのタイミングで発音するか?)

を表すことができます。

また、音符にはその長さ(音価)によっていくつかの種類があり、それぞれ個別の呼び名がついています。

# 主な音符の種類

全音符 

2分音符 

4分音符 

8分音符 

16分音符 

32分音符 

## 休符とは？

休符は「音を鳴らさない」指示を記譜するためのものです。

こちらも、どのくらいの長さ分演奏を休むかによって  
様々な種類があります。

## 音価とは？

音価とは「音の長さ」を指す用語です。

正確には













「楽譜上に書き記すことのできる長さ」という特徴があります。

実際の演奏や打込みの際には、

音符ごとに微細な音の長さの違いを表現することもあります、  
「音価」だけではそれを正しく表現することはできません。

あくまで楽譜に記載するための  
便宜上の長さと覚えておきましょう。

# 単純音符・単純休符

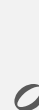
音符		長さ	休符	
全音符		4		全休符
2分音符		2		2分休符
4分音符		1		4分休符
8分音符		1/2		8分休符
16分音符		1/4		16分休符
32分音符		1/8		32分休符

# 各音符の長さの関係性

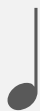
全音符



2分音符  
(全音符の1/2)



4分音符  
(全音符の1/4)



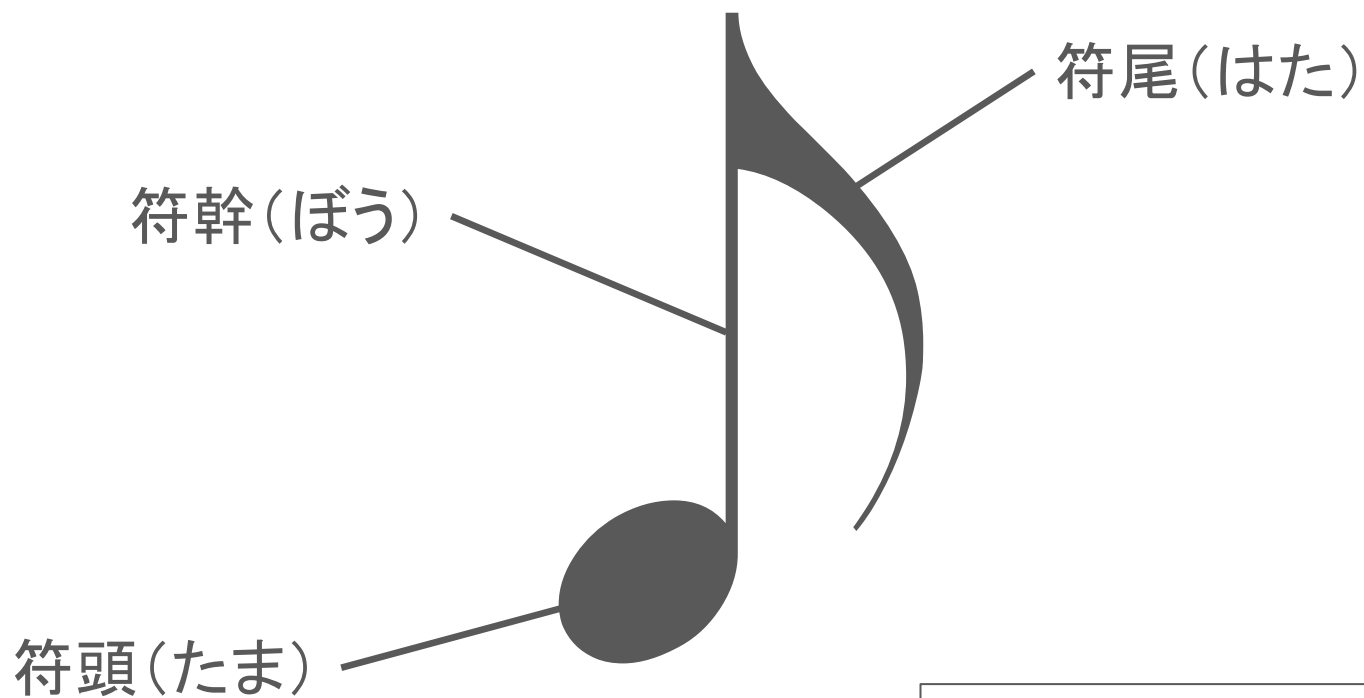
8分音符  
(全音符の1/8)



16分音符  
(全音符の1/16)



# 音符各部の名称

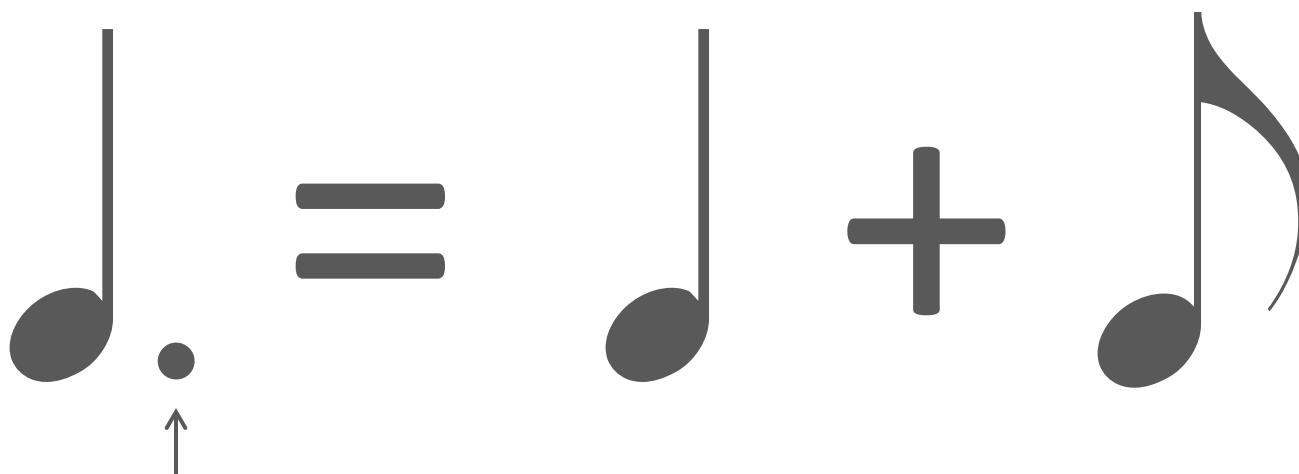


## 【参考】

「ぼう」のことを「符尾」、「はた」のことを「符鉤(ふこう)」と呼ぶ理論書もある。



# 付点音符・付点休符



付点

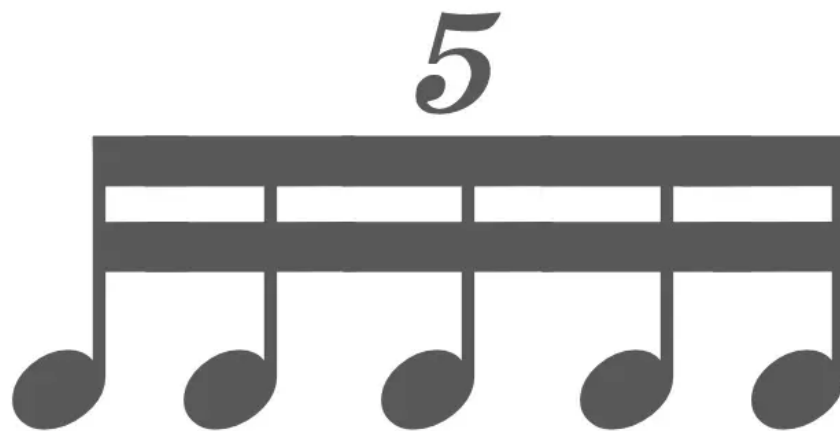
付点がついた音符は、元の長さの1.5倍になる

# 複付点



# 連符

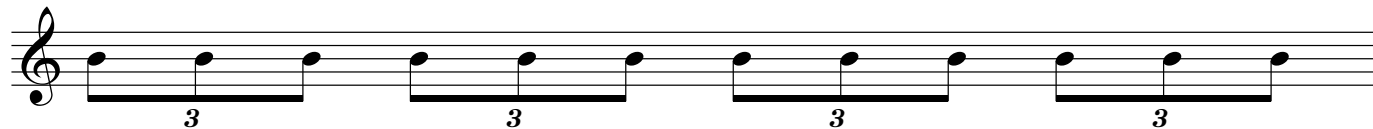
音符の符幹(連桁)に数字をつけて表記



1拍の中に単純音符では割り切れない数の音符を詰め込む際に使用

# 連符の種類

3連符



5連符



7連符

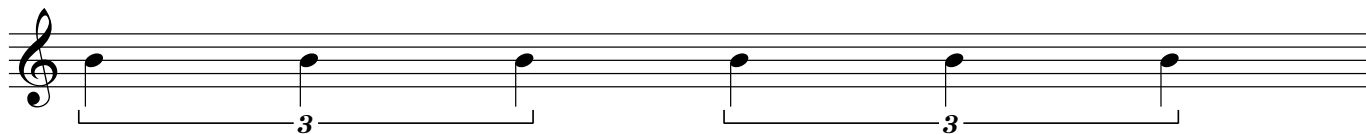


9連符

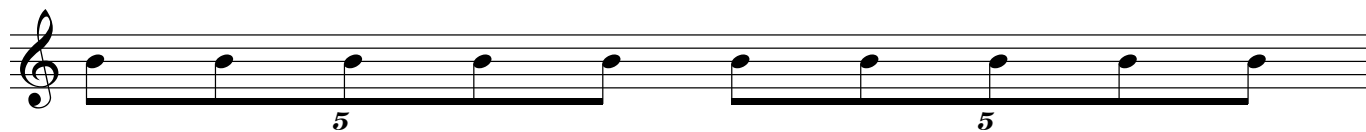


# 2拍○連符

2拍3連符

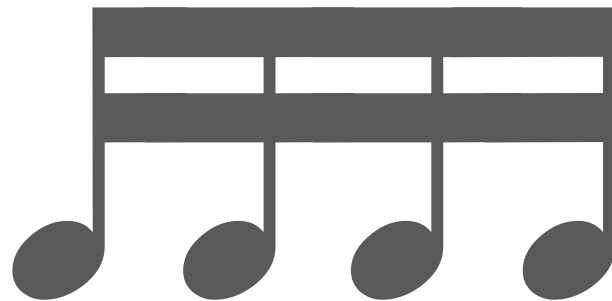
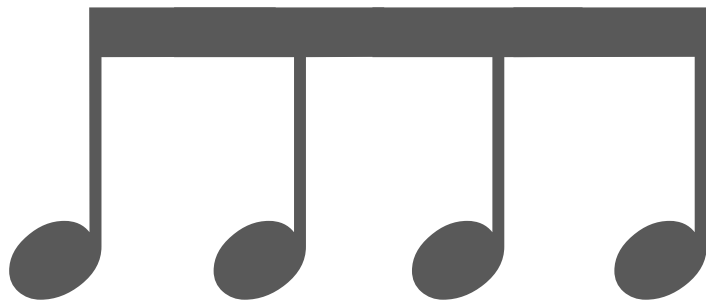


2拍5連符



# 連符(れんこう)

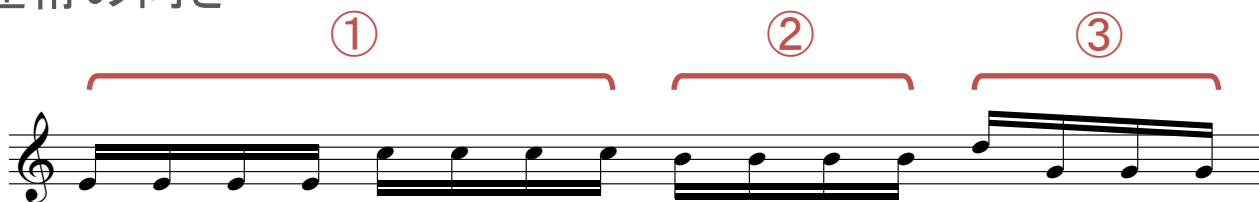
連符



8分音符や16分音符など、符尾のついた音符をまとめて表記する

# 連桁の書き方

## ■ 連桁の向き



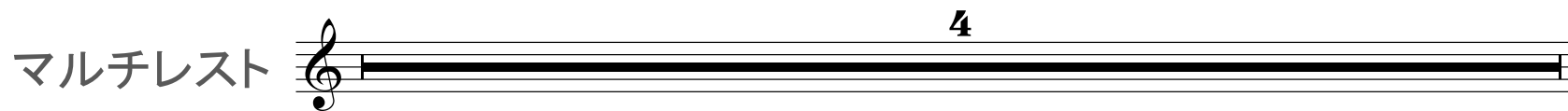
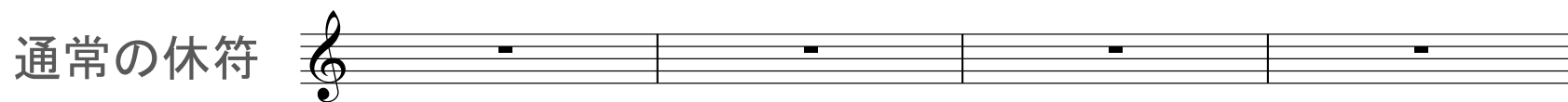
- ① 第三線より下の音符は上向き、上の音符は下向き
- ② ちょうど第三線の上にある音符はどちらでもOK
- ③ 複数の音程にまたがる場合は、数の多い方に従う

## ■ 注意点



8分音符の連桁は最大2拍、16分音符以上は最大1拍ごとに区切って表記  
(拍の境目がわからなくなるため)

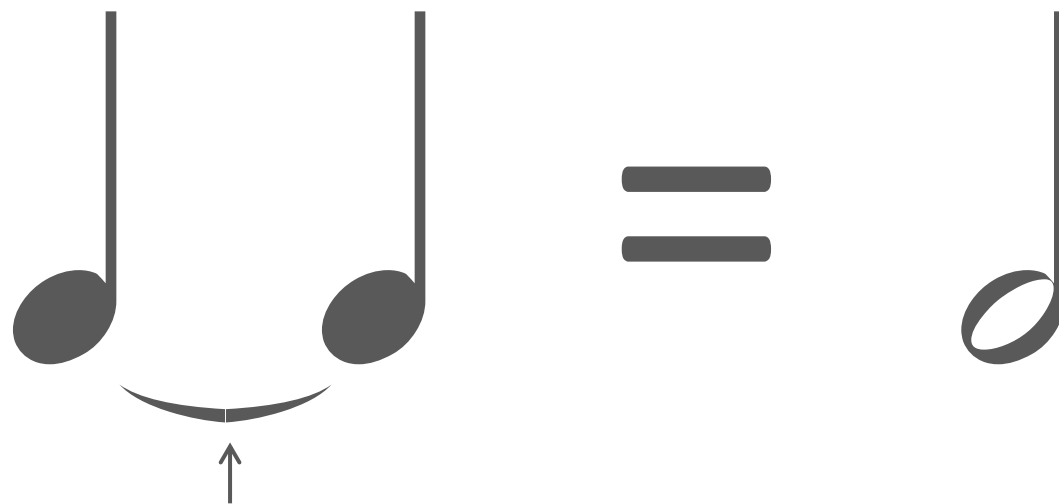
# マルチレスト



何小節休みなのか分かりやすくなる



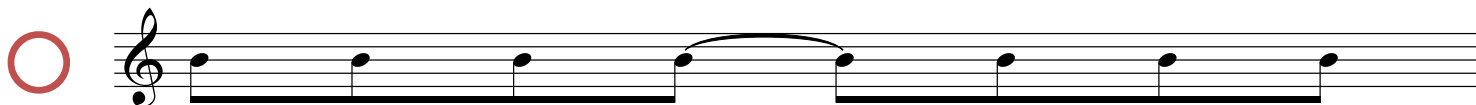
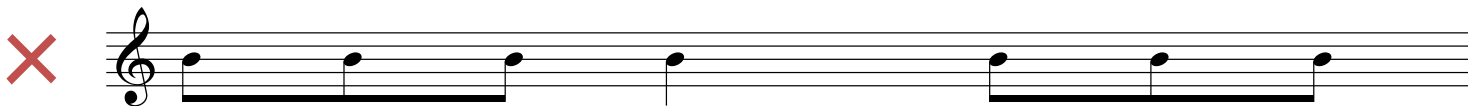
# タイ



タイ

タイがついた音符はつなげて演奏する

# タイの書き方



音符が3拍目をまたぐ場合はタイで表記  
(拍の境目がわからなくなるため)



小節をまたぐ場合もタイで表記